

# 寺社Now

www.jisya-now.com

特別企画

高まるインバウンド需要

## 海を越えて広がる 神前結婚式

クローズアップ

## 寺社のスペースで深まる絆

インタビュー

国土交通省観光庁長官

## 久保成人

世界の寺社

ベトナム初の世界複合遺産

## ニンビン史跡の洞窟寺ビックドン

巻頭特集

# 世界も注目 宿坊の魅力

お寺・神社向け情報誌

vol.3

MARCH 2015

## 巻頭特集

# 02 世界も注目 宿坊の魅力

- 1 外国人からも愛される宿坊・大徳寺 (埼玉)
- 2 世界遺産で味わう至高のサービス・一乗院 (和歌山)
- 3 癒し効果大! 神社の宿坊・静山荘 (東京)

# 06 寺社旅研究家 堀内克彦が語る 宿坊の魅力

# 08 インタビュー 久保成人

国土交通省観光庁長官

# 10 特別企画

高まるインバウンド需要  
海を越えて広がる 神前結婚式

上賀茂神社 (京都)

# 16 クローズアップ

## 寺社スペースで深まる絆

- 1 仏前結婚式・叢山寺 (京都)
- 2 高齢者介護施設・壬生寺 (京都)
- 3 ホチライブラリー・廣徳寺 (東京)

12 全国寺社イベント  
愛知・永正寺「良縁・寺カフェ」

14 チャレンジ特集  
福島 北萱浜紹荷神社

19 行政・観光ニュース  
広域観光周遊ルート形成促進事業

20 世界の寺社  
ベトナム初の世界複合遺産  
ニンビン史跡の洞窟寺ビックドン

22 活死人  
株式会社 Sen 代表 青木 優

23 職人技  
千葉 森の彩

24 野田博明 風まかせ 03  
ダメよ、ダメ 鳥の足跡、消しちゃダメ!!

26 うちのお宝  
茨城・薄泉寺 白鳥観音像  
茨城・龍島神社 巨刀

28 トренд Now  
3Dプリンターで作製! 合格祈願付  
「東大生 3D フィギュアお守り」  
寺社と映像のコラボが活躍  
進化するプロジェクションマッピング

29 街の声を聞く  
住職さんと神主さんについてどう思いますか?



僧や参拝者の宿泊地として利用されてきた宿坊。現在は国内外から多くの観光客が訪れる人気のスポットになりつつある。「宿坊ブーム」到来の今、いくつか観光客が集まる宿坊を紹介する。



世界も注目の宿坊の魅力

**神** 社仏閣の宿泊施設である宿坊は、古くから寺社の修行僧や参拝者などを温かく迎え入れ、親しまれてきた場所だが、観光スポットのひとつという捉え方はあまりされていなかった。今や宿坊は、ホテルや旅館と並ぶ宿泊施設として、そして日本の文化を体験できる観光スポットとして、日本人はもちろん海外からも多くの人が訪れる場所となっている。

昨今は観光客向けに宿坊の特色もさまざまに工夫され、個室完備、精進料理の提供、温泉、修行の体験、多言語の通訳など、宿坊を楽しめるサービスを提供するところが増えてきた。そんな宿坊にはもはや、「悩める人が訪れる場所」というイメージから一転し、日本古来の文化を体験し、遊べるスポットとして捉えられることが増えてきている。今後の宿坊は寺社に関心のある人だけでなく、グルメ好きや旅行好きなど幅広い年齢層の人たちを呼び込む可能性を秘めているだろう。

今回の特集では、観光客に人気の高い宿坊に取材し、その取り組みについてインタビューした。宿坊を営むことは、神社仏閣と参拝者・観光客の距離を縮めるとともに、仏教・神道の関心を深めてもらうチャンスにもなる。現在宿坊を営む人、これから始めようと思っている人にもぜひ読んでほしい。

外国人からも愛される宿坊・大陽寺  
大自然の中で過ごす喜び。標高800mの山中に静かに佇む禅寺。

“天”

空の寺の愛称で人気を集めている大陽寺

は、鎌倉時代末期に創建された禅寺で、宿坊を始めたのは今から約10年前。寺が位置するのは標高800mの山中。山々に囲まれたまさに秘境のような場所だ。住職である浅見宗達さんが祖父の後を継いだ当時、状況は厳しかった。檀家も少なく、不便な場所ということで観光客も訪れない。そんな中で始めたのが宿坊だ。大きな変化があったのは4年前。ある一人の外国人観光客が自分のブログに大陽寺の宿坊を取り上げたことで、外国人旅行者の観光スポットになった。

「何もない場所ですが、外国の方にはそれが新鮮だったのかもかもしれません」と浅見さんは話す。それからブログや口コミの影響で外国人旅行者は年々増加。英語版のホームページを設けるまでになった。ホームページでは、英語で予約から宿泊までの流れを丁寧に説明し、観光

客を誘致している。

これほど外国人を魅了した宿坊の魅力とは何なのか。その秘密は、美しい景色が一望できる座禅堂だ。心が開放されるような景色を眺めながら、座禅・写経、ヨガトリートが体験できる。インストラクターを招いて行われるヨガは外国人宿泊者に特に人気だ。参加者からは「川が流れる音や鳥のさえずりを聞きながら行うヨガは気持ちがいい!」と、喜ばれている。

厳しい状態だった宿坊には多くの人が訪れるようになり、今では年間1000人以上が宿泊するようになった。2011年、日本経済新聞の「初心者にお勧めの宿坊ランキング」で1位に選ばれたこともある。

浅見さんに、成功の秘訣を聞いてみた。「最初は不利だと考えていた不便な立地が、逆に人気の要因になりました。足りないものを嘆くのではなく、今あるものや環境を生かした宿坊づくりがよかったのだと思います」と浅見さんは力説する。



臨済宗建長寺派 大陽寺  
〒369-1901  
埼玉県秩父市大滝 459  
Tel. 0494-54-0296



世間の喧騒から離れ、心静かに目の前に広がる自然と一体となる。

世界も注目の宿坊の魅力  
1

世界も注目  
宿坊の魅力

2



世界遺産で味わう至高のサービス・一乗院  
質の高いサービスで多くのリピーターを獲得する、高野山の宿坊。

## 平

安のはじめ、弘法大師によって真言宗が開かれた日本仏教の一大聖地、高野山。52もの宿坊を行う寺院が存在し、連日多くの参拝客が訪れるこの場所にあつて、リピート率を誇る宿坊を運営するのが、「一乗院」だ。「奇抜なアイデアや独自のもてなしを考えるというよりは、このお寺に訪れる方々に、少しでもつるいでいただけるように心がけています」

そう答えてくれたのは、佐伯公広住職。その言葉通り、日本の四季を感じる滋味深い料理や美しい庭を眺められる部屋、宿坊を利用の方はもちろん体験できる「阿字観」と「写経」など、お寺での宿泊ならではのサービスが受けられるが人気の秘密だ。

「海外からのお客様も含め、リピーターとなる方が多いのが、一乗院の特徴だと思えます。英語や中国語を話せる役僧もいるので、海外の方も快適に過ごしていただけています。そんな

高い評価と実績を誇る一乗院の宿坊。宿泊をきっかけに、その後、足繁く参拝するようになった人たちも多いのだとか。その結果、現在では1日平均で40人、年間では1万5000人の参拝客が訪れるようになった。

「1度の利用で1万2000円〜2万円程度をいただいています。お部屋の管理や料理の質を考えると、正直に言えばもうけがあるわけではありません。しかし、宿泊された方が仏教と触れ合い、お寺を好きになってもらうためには、サービスの質を高め、満足していただくことが重要だと考えています」

一流ホテルや高級旅館並みのサービスでもてなすことで、宿坊を利用した人はお寺と高野山の魅力を知る。それがリピート率の増加や、口コミに繋がります。宿坊の利用だけでなく、寺社に縁のなかった人たちの参拝客の増員にもつながっている。

そんな先を見据えたもてなしこそが、このお寺の宿坊が評価される秘訣といえよう。



院内は清潔に整えられて、部屋から美しい日本庭園を眺められる。



高野山一乗院  
〒648-0211  
和歌山県伊都郡高野町高野山 606  
Tel. 0736-56-2214

世界も注目  
宿坊の魅力

3



癒やし効果大！ 神社の宿坊・静山荘  
武蔵御嶽神社の神職が営む宿坊。滝行、ヒーリング体験が大人気！

## 日

本古来の山岳修行の聖地としても有名な御岳山。その山頂に、武蔵御嶽神社の橋本薫明さんが運営する宿坊、静山荘はある。昔から修行者に親しまれていた静山荘は、現在も年間1000人以上が訪れる人気の宿坊だ。そんな現在の静山荘で女性客を中心に人気を集めているのが滝行体験。約20年前から始めた修行体験のひとつだ。橋本さんの教える滝行は、苦行ではなくリラッククスを目的としている。

「修行を通して本来の自分に戻って、我がまま」に、感性に従って生きてほしい」と橋本さんは語る。

それまでの宿泊者の大多数は参拝者だったが、滝行を目的とした一般客も年々増加。その参加者は30〜40代の女性が約7割を占めている。

また、水晶でできたクリスタルボウルという楽器の演奏も静山荘の魅力のひとつ。その神秘的な音の振動には癒やし効果が

あるという。橋本さん自身が奏でられるクリスタルボウルの音色は美しく、心からリラッククス効果を与えてくれると好評だ。

ヒーリング体験前に振る舞われる夕食も宿泊者に人気が高い。御岳山でとれる山菜の天ぷらをはじめ、川魚の塩焼きや刺し身など、旬の食材をふんだんに使った季節の料理が並ぶ。最後にこれから宿坊を始める寺社へのアドバイスを聞いた。

「訪れた人たちの思いにどうしたら応えられるか、地域に合ったかたちで考えることが大切。山や滝のように自然にあるものを活かすのもいいと思います」。

御岳山には江戸時代から続く宿坊が24軒ある。今でこそすべて武蔵御嶽神社の神職が営んでいる宿坊だが、明治時代の政府が行った神仏分離が発令する前は、寺院としても機能していたという。時代が移り変わるとともに、宿坊の姿も変化を遂げてきたが、寺社の本来の目的である人の心を救うという本質は、今も変わっていない。



静山荘  
〒198-0175  
東京都青梅市御岳山 43  
Tel. 0428-78-8445



神主が自ら奏でるクリスタルボウルヒーリングは人気イベントの一つ。

寺社旅研究家  
堀内克彦  
が語る

# 寺社と縁のない人をひきつける 宿坊の魅力



## 私

が初めて宿坊に泊まったのは、16年前の大学時代。ガイドブックの片隅に書かれていた「お寺に泊まれる」という一文に興味をそそられ、「古都愛好会」というサークルの仲間とともに、京都の妙心寺塔頭・大心院に宿泊した。

宿坊についての知識は全くなかった当時の私の予想と反して、とても快適な旅だった。こたつが用意された暖かな部屋。外には美しい枯山水の庭園や重要文化財に指定されている妙心寺の伽藍が並んでいた。夜には月明かりに照らされたお堂が美しく、昼だけではなく24時間観光できることにも宿坊の魅力を感じた。宿坊には日本各地の宿とは一線を画す贅沢な風情があり、これはすごい場所を発見してしまったと、胸が高鳴ったのを覚えている。

初めての宿坊旅行から帰った後、宿坊情報を夢中になって探し、「宿坊研究会」という名のサイトを立ちあげ、2000年5月5日にインターネットで公開を始めた。

お寺や神社の日常に触れる体験に注目が集まることは、寺社にとっても意外だったのかもしれない。発信した情報を見た多くの方が宿坊へと足を運び、座禅や写経

ができるか、精進料理を食べられるかなどの問い合わせが寄せられ、大きな反響を得た。

そして近年、お寺や神社での素晴らしい宿泊体験を求め、国内だけでなく海外からも宿坊の人気が高まっている。座禅や写経などの仏教体験。木造建築のぬくもりや日本庭園に漂うわびさび。祈りに満ちた本堂。掃き清められた境内のすがすがしさ。ホテルでも旅館でも味わえない非日常と出会う宿。そこでは朝のお勤めやお坊さん・神主さんの所作など、寺社の「日常」に感銘を受ける方も多い。参加者が1000人を超える寺社旅サークル「宿坊散策会」や各



お寺活用アイデアコンテストの審査員や、僧侶研修会でのお寺生活講師など、イベントや講演活動も活発

## PROFILE



宿坊研究会代表 堀内克彦

「人生を変える寺社巡り」がテーマの寺社旅研究家。各地で寺社活性化・地域活性化の講演を実施し、寺院コンサルタントとしても活動中。

著書に『宿坊に泊まる』（小学館文庫）、『お寺に泊まろう』（ブックマン社）、『恋に効く！えんむすびお守りと名所』（山と溪谷社）など。



堀内さんは寺社に関する著書も多数出版しており、好評を得ている

## 合計50万PV以上！ 人気の寺社関連サイト

国内外で宿坊の魅力を発信中！  
**宿坊研究会**  
<http://syukubo.com>



日本全国の宿坊情報を発信。All About「スーパードライバーおすすりサイト大賞」で審査員特別賞を受賞している。

◎英語版サイト  
**Temple Lodging in Japan**  
Temple・ロジング・イン・ジャパン  
<http://templelodging.com>

日本各地の宿坊の説明、料金などを英語で解説。宿坊の魅力を海外へ発信する。

### 派生した寺社関連サイト

**縁結び神社研究会**  
<http://enmusubida.com>  
縁結びの御利益スポットを紹介

**お守り研究会**  
<http://omamorida.com>  
日本各地の特色あるお守りを紹介

**仏像研究会 (Facebook)**  
仏像の写真を日替わりで紹介

地の宿坊運営者が集まった「宿坊サミット」、寺社好きな男女が集まり寺社体験を楽しみながら出会うの場にする「寺社コン」など、宿坊研究会を媒体にしたさまざまなコミュニケーションも広がりを見せている。

なぜ、こんなにも寺社に注目が集まっているのか。時代の閉塞感から、癒やしを求めた空気になっただけではないように感じられる。宿坊に泊まれる方は、意外とのびのびとしている。お坊さんや神主さんに人生相談をされる方もいるが、そう多くはない。時間の使い方が単純に変わってきている。人々は積極的に物より時間に価値を置くようになってきた。罰ゲームのようなイメージのあった座禅や写経は、一度は体験したい自分



全国の宿坊関係者が参加して勉強会を開催

を高める体験として語られるようになった。

寺社に求められるものが、より本質に迫ってきている。それは従来の檀家や氏子といった慣習の外から飛び込む人が、増えているためでもある。何も知らない素人が素朴な疑問を發し、古臭い・地味

といった先入観なくその良さを発見していく。宿坊は初めての人も垣根なく入れるため、寺社と人が新たに関係を結ぶ最前線の場としても機能している。

宿坊研究会を開いてから15年。北海道から九州（一部、海外も）まで全国100軒近い宿坊を泊まり歩き、さまざまなケースを見聞きし、体験してきた。その中で私はこれからの新しい寺社のモデルには、宿坊が加わると考えている。例えばお寺を経営基盤で考えた時、檀家寺・信者寺・観光寺で分けられることがあるが、今後はこれに宿坊寺も入っていくと予想している。

一つの地域に固まっている。宿坊が一つもない県も多く、それだけに一軒生まれるだけでも世間に与えるインパクトは大きい。過疎の町にあるお寺の宿坊に、全国から人が集まるケースも出てきている。

日常とは別の価値観に出会う場所として。寺社の新しい存続形態として。都市と地域をつなぐ拠点として。海外からの旅行者を受け入れる日本の顔として。これからますます宿坊の可能性は広がっていく。そして私は現在すでにある宿坊を盛り上げていくことはもちろん、新たに宿坊を開きたい寺社があれば、そのお手伝いもできたらと考えている。今後は宿坊を中心にしながら、日々の活動や寺社を盛り上げる方策について述べていきたい。

## 堀内氏をアドバイザーに迎え、宿坊創生プロジェクトが始動！

日本の伝統文化に触れ、朝のお勤めなど寺社ならではの体験ができる外国人観光客を中心に注目が集まる「宿坊」。宿泊施設不足解消や一部地域に集中する観光客の分散化などを意図し、全国寺社観光協会が宿坊研究会の堀内氏をアドバイザーに迎え「宿坊創生プロジェクト」を立ち上げた。

同プロジェクトは、宿坊の新規開設・運用・外国語対応に関するノウハウ提供から集客施策までを包括的にサポートするといったもの。今後、宿坊予約のポータルサイト「SHUKUBO」を立ち上げるほか、宿坊宿泊と地域の魅力などを体験できるイベントを組み合わせた長期滞在型の旅行パッケージプランを展開し、近年ニーズが高まる「体験型観光」へも対応していく。

# 寺社は世界に通じる魅力ある観光資源 国内外に情報発信する好機が到来

## 増加する訪日旅行者へ向けた さまざまな取り組み

**編集部** 2014年の訪日外国人旅行者数が1300万人を達成しました。この好調の背景はどのようなものなのでしょうか？

**長官** 2014年の訪日外国人旅行者数は、対前年度比29・4%増の1341万人となりました。訪日外国人が増えている理由は主に三つあると考えます。一つめは、日本政府が一丸となって外国人観光客増加の取り組みに力を入れていること。羽田空港国際線の発着枠拡大やビザの大幅緩和、免税制度の拡充、C-IQ（税関・出入国管理・検疫）体制の充実等の政府施策と円安で訪日旅行の割安感が拡大したことが、相乗効果を生んでいます。二つめは、日本への国際的注目度の高まり。東京オリンピックやパラリンピック開催が決定したり、富士山や富岡製糸場の世界遺産登録、和食や和紙の無形文化遺産登録などで、日本への関心が高まっています。

**編集部** 確かに世界遺産への相次ぐ登録は、国内だけでなく海外でも話題になりましたね。

**長官** 三つめは、継続的な訪日プロモーションで、訪日旅行の人气が高まったことが挙げられます。

**編集部** 今後はどのような取り組みをされていくのでしょうか？

**長官** 今後は、2000万人達成のために、次の三つを重点的に取り組んでいきたい、と考えています。まず、いわゆるゴールデンルートや東京周辺に集中している外国人旅行者を、全国各地域へ呼び込む必要があります。中部・北陸9県にまたがるエリアを進めている「昇龍道プロジェクト」のように、各地域が連携して広域的なルートを形成し、点から線、線から面へとネットワーク化していかねばなりません。**編集部** 地方のエリアとしての魅力を知ってもらう取り組みは大事ですね。**長官** そうです。二つめは、地酒や和食などの各地域の観光資源を「日本ブランド」として、世界に発信していくこと。そして三つめは、訪日外国人旅行者の急増に伴う課題への対応です。

## 久保成人

国土交通省観光庁長官

空港容量、貸し切りバス・宿泊施設の供給確保や、クルーズ受け入れ環境の整備、無料Wi-Fi環境の拡充などのさらなる充実を目指します。

## 寺社の持つ奥深い魅力を 新しい層へアピール

**編集部** 日本の寺社はそれらにまつわる歴史や文化も含めて重要な観光資源です。「観光資源としての寺社」に対するご意見をお聞かせください。

**長官** 寺社には古来より継承されてきた日本人の価値観、信仰心、宗教観が凝縮されています。我が国には有名寺社だけでなく、知る人ぞ知る魅力的な寺社が全国各地にあり、寺社が地域の歴史を育み、日本人の精神の底流となっていることを、訪問した方々に認識いただける取り組みが重要です。**編集部** 確かに、取材を通してまだまだ知られていない魅力的な寺社がたくさんあることに驚かされます。

**長官** 海外に対しては、その寺社にしかない特徴のPRや、特別な体験メニューの提供など、外国人を引きつけ



る情報発信が不可欠です。また、周辺の観光地や飲食店など、外国人が訪れるルートを意識した地域全体が連携した情報発信も大切です。

外国人観光客に対しては、快適に寺社観光が楽しめる、言語と内容の両面からの環境整備も大切です。例えば、寺社も含め日本に関する知識のない外国人にもわかりやすいように、歴史的背景や文化面を配慮した案内板等の整備などの工夫が求められます。

日本人観光客の誘致については、歴女と呼ばれる歴史好きの女性や御朱印ガールと呼ばれる御朱印を集めて回る女性たちのように、新たな層からの関心が寄せられており、こうした新しいニーズへの取り組みも重要ではないかと考えます。

**編集部** 観光客誘致活動として、観光庁と寺社との連携は現在あるのでしょうか。

**長官** 観光庁は、これまで寺社の方々との関係が薄かったのですが、2013年のツーリズムEXPOのレセプションを増上寺で開催したり、本年（2015年）が徳川家康公没後400年であることを契機としたイベントを日光東照宮及び久能山東照宮で開催する等、関係を強化しております。

## 寺社、地域、行政が協力し さらなる観光振興を

**編集部** 訪日外国人は、台湾・韓国・中国などのアジア諸国が大半を占め、ヨーロッパからの旅行者は全体の10%

程度です。これらの国々に対する取り組みをお聞かせ下さい。

**長官** ご指摘のとおりですが、2014年にはイギリス・フランス・ドイツの3カ国で史上初めて50万人を超えるなど、ヨーロッパからの訪日数も着実に伸びています。今年は、この3カ国にイタリアとスペインも重点市場に加えて、プロモーションを強化して参ります。特に、本年（2015年）はミラノ万博が開催されますので、万博を通じた訪日プロモーションの実施を考えております。

**編集部** ヨーロッパでも、日本の人気は高まりつつあるのですか。

### 観光庁長官 久保成人（くぼ・しげと）プロフィール

1954年1月15日生まれ、61歳  
1977年京都大学法学部卒業、運輸省（現国土交通省）入省  
2010年8月鉄道局長、2012年9月大臣官房長、  
2013年8月より現職

**長官** ヨーロッパには、「目利き」と言われる成熟した旅行者層や富裕層も多く、社会に対する発信力・影響力も大きいことから、「目利き」へのアプローチが特に重要だと考えております。彼らに向けて、「日本の歴史・伝統文化」など多様な日本の魅力を積極的に発信します。2015年11月には、フランスのカンヌで開催される富裕層をターゲットとした旅行博であるI L T M (International Luxury Travel Market) に日本ブースの出展を計画しています。

**編集部** 最後に、神社や仏閣に対して観光の側面から見たご意見がございませ

したら、お聞かせください。

**長官** 寺社は、世界に通じる魅力ある観光資源であります。寺社関係者には、現在が観光面での活用と国内外への価値発信の絶好の機会と捉えていただければと思います。近年、各地域で地方自治体やNPO団体、民間企業などが観光地域づくりに熱心に取り組んでおり、こうした方々との連携がひとつのポイントです。観光庁及び地方組織である地方運輸局等は、幅広い関係者と協力して観光振興に取り組んでおりますので、寺社関係者の皆様にも参画いただき、ともに地域の活性化にご協力願えればと存じます。



高まるインバウンド需要

海を越えて広がる

神前結婚式

日本伝統の結婚式である神前式。雅楽や和装をはじめとする古来から受け継がれてきた洗練された作法や様式は、海外の人にとってはたいへん刺激的で新鮮なものである。

近年、この日本での神前式の挙式スタイルが、外国人から注目を集めているという。高まるインバウンド需要の中、宗教の壁を越え、近年増加の傾向にある外国人による神前式を取材するため、世界遺産であり京都有数の観光地でもある上賀茂神社を訪れた。

海外のカップルが夢見る日本での結婚式とはどんなものか、なぜ神社で結婚式を行うのかなど、上賀茂神社で実際に神前式を行ったカップルの一組を取材してみた。

写真提供：ワタベウエディング

都といえば、昨年アメリカの大手旅行雑誌の企画で「世界一訪れたい都市」に選ばれたほどの、世界有数の観光地。古都・京都が織りなす特色は、景観や食のようなアクティビティだけでなく、日本古来の文化や様式を体感できるところにある。神前式もそのひとつ。和装に身を包み神聖な境内で式を挙げることは、異文化の人々にとってこのうえない記念なのだ。

「海外から神前式を挙げるに求められる方は多くは、自国のメディアなどで十分の上賀茂神社や神前式のことを知っています。さらにお申し込みされる方のほとんどは、ブライダル会社を通じてたくさん情報を得ているので、比較的スムーズに式が進む印象ですね。それどころか、日本の様式美にაცოგელემოっている場合が多いため、とても真剣なんです」



上賀茂神社  
〒603-8047  
京都市北区上賀茂本山339  
Tel. 075-781-0011

## 世界が注目する伝統と格式に洗練された美が宿る

世界遺産であり海外の観光客から人気の高い上賀茂神社。権禰宜を務める乾光孝さんは、海外からの神前式を行ったカップルについて、そんな感想を語った。

「特に今はインターネットの時代なので、どの国においても日本の文化を学ぶことができます。しかし遠くから実際に日本の文化を体感しにやって来て、古い習慣に感動してくださったりすると、うれしい気持ちになりますね」

さらに今回、実際に上賀茂神社で挙式をしたアメリカ人夫婦の式に立ち会うことができた。神前式を選んだのは、新婦が学生時代、交換留学生として京都に滞在したことがきっかけだったという。

「昔から日本文化、特に着物に興味がありました。なので、一生で一度の結婚式を和装でしたいと、思い切って神前式を挙げることに決めました」

新婦のサブリナさんは、帰国したら友人たちに宣伝したいと、花嫁らしい幸せそうな表情を浮かべていた。京都は世界的にも人気の観光地であることから、来日した新郎新婦やその親族は、京料理を味わい、お土産を買ひ、世界遺産を見物するという、京都観光のすべてを式場で堪能することができるのだと乾権禰宜は言う。上賀茂神社の神前式費用は一律10万円とのことだが、式だけでな

く、1日トータルで満喫できるということから、希望者は増えているのだとか。

このように、異文化と触れ合いながら観光もできると海外からも注目を集める神前式。外国人のみならず、国内でも希望者が増加の傾向にあるとのこと、神秘性や文化が見直されているようだ。ある調査によれば、挙式した人のうち、神前式の増加は顕著になっている。8・2%だった2004年から、10年には14・9%と、倍増の結果となった。こういって、神前式ブームの兆しについて、乾権禰宜はこう締めくくると。

「神前式を含んだウエディングプランのなかには、ホテルなどに設備を移して執り行うものも多いです。それらを否定するわけではないですが、伝統の作法や文化を体感したいなら、やはり古来からそこにあり続ける神社という場所が重要だと思います。不変の愛を誓うのに、数百年にわたって地域に愛されている神社はふさしい場所じゃないですか」

長い年月、変わらずにあり続けた伝統が、私たちの生活が変わることで、当たり前ものから新鮮な感動を与えるものに変わりつつあるのかもしれない。



神前結婚式を挙げるアメリカ人ご夫婦のサブリナさんとトニーさん

愛知・永正寺「良縁・寺カフェ」

## 婚活イベントで 人と人との縁をつなぐ

# 愛

知県江南市。1504年（永正元年）杉山主水の開創と伝えられる永正寺。家紋菊水が当寺の寺紋に使われていることから、当時は杉山家の持仏堂であったと考えられる。

臨済禅の大徳、悟溪宗頓八哲の一人で、丹羽郡山那に生れ悟溪の甥に当たる獨秀乾才（法智普光禪師）が、長良岩福寺から当寺に招かれ、開山となり、永正元年から同五年まで在住ついで善師野福昌寺に移っている。当時、高屋庵と称された永正寺はこの時から臨済宗妙心寺派に属した。

この永正寺が、約3年前から婚活イ

ベント「良縁・寺カフェ」に取り組んでいる。これまでの開催回数は20回を超え、多いときは一回に40人以上が参加している。定員を超えた申込みがあることも多い。

お寺での安心な出会いを強調し、より開かれた婚活の場として、広く地域の人々に参加を促し、お寺での「良い縁」に出会えることを謳っている。

食事には、気軽な感じを出させるため、ピザやパスタなどを出したり、お酒は出さないが、ソフトドリンクをフリーにして、デザートやお菓子も出すなど工夫している。

特に会場として提供する茶所は、住

職曰く「ソフトクリーム器を入れるために、この建物（茶所）をつくった！」とのこと。サービスにも徹底している。

茶所は2004年建設。お客様が来た時やイベントの時などに使用する。常備されているソフトクリームの器械は、なんと2台！このソフトクリームは、施餓鬼のときなどに子どもたちにもお出しすること。出来る子には自分でソフトクリームを作ってもらうので、より印象に残るとか。

まず、子どもの頃から習慣化されるのが大切なこと。そして、何かあったときに仏教の教えやお寺が必要とされることにつながっていくとの住職の



席替えの合図には鐘を使用。「お寺らしい」と好評だ。



# 人生の伴侶にめぐり合える 「出会いの場」を提供

考え。

婚活イベントは、1対1ではなく、多対多で向かい合ってお話をするコンパの様スタイル。一定時間で男性が席替えを行う。1対1のような緊張感がなく、隣を巻き込んだ自然な会話が発生しやすい。最後には、自分が気に入った相手二人に連絡先を渡すことができる。一人だけでない点もおもしろい。この気軽さが、このイベントを長く続けさせる秘訣のようだ。

開催にあたっては、ホームページに掲載することももちろん、檀家向けの会報や地域の情報誌でも案内を行っている。積極的な広報も大切だ。こうした

取り組みにより、「一般の参加者が過半数を大きく上回るようにしている。こういった努力によって、「若い世代とお寺との縁を生み出したい」という狙いを表現することができている。

参加者からは、「気軽に参加できた」「安心して楽しめた」という声が多く寄せられているという。これは、寺社特有の信頼感かなせる業だ。真剣に結婚を検討している独身の男女が多数押し寄せるのも頷ける。

寺院という場所が持つ落ち着いた雰囲気、良縁・寺カフェの大きな魅力となっているようだ、中村建岳副住職は言う。

これまでに、「良縁・寺カフェ」で出会った2組のカップルが結婚にまでたどり着いた。

今後の目標は、出会った縁を大事にすること。イベント当日で縁を終わらせず、長くつながりを保つことだ。様々なイベントやセミナーを企画し、参加者同士、あるいは参加者とお寺が継続的に交流できる場の創出を考えている。

こうした縁のつながりが、お寺と周りの人々をつなぎ、更に大きな網となって広がり、お寺と人々の交流が深まって行く。お寺と人のつながりによる活性化が実現して行くのである。

愛知

臨済宗妙心寺派  
永正寺

〒483-8083  
愛知県江南市高屋町中屋舗46  
0587-56-2584



奇跡的に全壊を免れた北萱浜稲荷神社の社殿。屋根、柱は震災前から変わらないもの。この神社周辺は住宅地であったが、津波によってほとんどの家が流されてしまい、今も空き地状態に。また、社殿を囲うようにある鎮守の森。一部が海水で枯れてしまったため、現在森の復興のために植林などにも努めている。

**今** も記憶に新しい東日本大震災。あの日から約4年たつが、いまだに復興が進んでいない場所がたくさんある。今回訪れた福島県南相馬市にある、北萱浜稲荷神社も例外ではない。

北萱浜地区は海から約1kmのところであり、高さ約10mの津波に襲われた。半数以上の住宅が全壊し、約400人の住民のうち47人の方が亡くなった。

この大災害で平地にあったにもかかわらず、津波から奇跡的に生き残ったのが北萱浜稲荷神社。「ここを復興のシンボルにしよう!」と、インターネットサイトや新聞で寄付を募り、動き始めた修繕工事。2014年4月に神社が完成し、新しい一歩を踏み出し始めている。

震災から神社復興までの道のりを、北萱浜地区代表・林一重さんに聞いた。

チャレンジ特集 寺社の復興の原動力を探る

## 福島県・北萱浜稲荷神社 神社復興への道のり

2011年3月11日に発生した東日本大震災から早4年。地震、津波で損壊した神社を修繕し、復興の象徴に



北萱浜稲荷神社  
〒975-0036  
福島県南相馬市原町区萱浜原ノ山60番地

「震災が起きた日からしばらくのあいだ、避難所を転々とする生活を送っていました。その翌月(2011年4月)に北萱浜地区の避難解除指示がでて、早朝から日が暮れるまで、地区住民で行方不明者の捜索をする日々。そのとき集合場所にしていったのが、この北萱浜稲荷神社。神社の屋根と柱、お稲荷様は無事に残っていたけれど、周りにはがれきで埋めつくされていました。家族、親族を亡くした人や、家を流された人……このままではみんな気持ちの踏ん切りがつかない。そこでまず直したのが墓地。慰霊碑もつくりました。そして北萱浜地区のコミュニティの場として、神社を修繕しよう、と地区のみんなと話し合っただけです。神社を直すための資金は、自分たちで集めるしかありませんでした。でも、このあたりのほとんどの人が

津波に流されて家もない。そんな状況で地区住民から修繕費を集めるわけにはいかない。そこで友人の熊谷航さんに相談をして、インターネットで寄付を募ろう、ということに。その後、新聞にも掲載してもらい、全国から100人以上の方々にご支援をいただくことができました。そこにこの住民で積み立てていたぶんなどを合わせたお金で、やっと神社の修繕に取りかかることができました」

一冊のファイルを見せてくれた林さん。その中には掲載された新聞の切り抜きや、寄付とともに届いたメッセージなどが大切に保管されていた。そうして全国からの支援を受け、2014年4月に神社の修繕工事が完了した。

「神社が完成したときは、みんな心から喜びましたね。私を含め、まだアパートや仮設住宅に住む人がほとんど。以前はこのあたり一帯が住宅地だったけど、今はほとんどが荒野状態のまま。地区住民はバラバラのところに住んでいるけれど、神社に併設した集会所が定期的に集まる場所として機能。また神社の行事などでは、北萱浜音楽愛好会が伝統舞踊の天狗の舞を披露するなどしてにぎわっていますよ。今に至るまで、私たちの地区では、何でも必ず地区住民で話し合いをして決めました。この復興のために、地区の住民でじっくり話し合いをして、計画を立てることから始まりました。だれかが動いてくれるだろう、という待ちの姿勢ではなく、みんな力を合わせようという気持ちが大切だと思いますね。ほかにも被災された神社やお寺もたくさんあるので、早く復興することを願っています」



お話をしてくださったのは、北萱浜稲荷神社のある北萱浜地区代表の林一重さん。北萱浜稲荷神社修繕プロジェクトに携わり、尽力した人物のひとり。現在は福島市内に在住、JAそうま理事・金融共済専門副委員長を務める。また、地元特産の深根ネギの栽培にも力を入れている。JAそうまの特産品も購入できるホームページはコチラ!⇒『JAそうま』  
<http://www.ja-soma.or.jp/>

# 寺社のスペースで深まる絆

昨今、本堂や境内などの寺社スペースが地域の人々の新たなコミュニケーションの舞台になっている。寺社が地域社会との絆を深めるためのヒントを探った。

## 1 仏前結婚式

寺社の挙式ブーム到来で注目される寺院の仏前式

**新** 郎新婦がふたりの縁を仏様の前で報告し、結婚すると来世でも縁が結ばれるという仏教ならではの教えから、縁起もよいとされる仏前式。年間6000組程度の夫婦が挙式をしているが、全国に7万5000ある仏教系寺院の数を考えれば、PR次第でまだまだ増える可能性を秘めた挙式スタイル。

そこで、紫式部が暮らした場所に建つ「廬山寺」の執事長を務める町田亨宣さんに、仏前式のあり方について尋ねてみた。

「廬山寺は、紫式部ゆかりの地ということもあり、文学ファンの女性などの支持を得て、仏前式が好評です。本来、お寺は人の一生の節目に関わりを持ち、常に開かれた場所であってはいけません。お寺と疎遠になった方々に親近感を抱いてもらうためにも、仏前式を告知できればと思っています」

その言葉通り、多くのお寺がそれぞれの特色を打ち出すことができれば、仏前式の需要はさらに高まり、お寺のあり方も変化していくのかもしれない。



新婦には十二単、新郎には直衣、同志社大学のゼミ生による源氏物語の衣装で結婚式を再現。

紫式部が暮らした場所として、文学ファンの女性に人気の廬山寺。仏前式の際に必要な道具もそろえられ、式が執り行われる日にはお花も用意するなど、夫婦をサポートする。また、2010年には同志社女子大学のゼミが行った「Genji Wedding」の会場としても貸し出された。

### 寺社スペース活用のヒント

信仰の場から地域交流や学びの場へと趣を変えて、寺社で開催される各種イベントや企業セミナーなどの取り組み。今まで寺社に縁のなかった人たちに、「知ってもらおう」「気軽に来てもらおう」ことを前提に、本堂や境内の一部を提供した結果、本来の仏事に興味を持ち、寺社と縁が生まれた実例は多い。今回の取材では、個人単位の仏前結婚式から市や県を巻き込んだ養護施設などの福祉事業まで紹介したが、全国各地には数多くの活用方法も生まれている。

- 地域のチャースクール
- 主に地元の人たちから募集し、ヨガ体験や料理教室まで、多岐に渡るスクールの開催場所として利用。定期的に開催されることが多いため、利用者が自然と馴染み深くなるのも魅力。
- 企業セミナー
- 一般企業に貸し出し、就職案内セミナーや企業説明会などを行う。セミナーの合間にこれから社会に出る若者に住職が説法をしてほしいなどという依頼もあり、普段寺社に足を運ばない層に魅力を提供する機会にもなる。
- 音楽イベント
- 企業や自治体を巻き込む大規模なものから、地元のバンドが行うJAZZコンサートまで、規模を問わず開催される。寺社の敷居の高さを取り払い、気軽に寺社に足を運ぶきっかけにもなっている。

## 2 高齢者介護施設

高齢化社会を先取りした福祉活動で社会貢献

**新** 選組が屯所を構えた場所に近く、老若男女を問わず観光に訪れる「壬生寺」。日本史に詳しくない人にも知られるこのお寺が、老人ホームや保育所を運営しているということは、意外な事実かもしれない。

1950年に保育施設を開設後、1981年に特別養護老人ホーム、その後、介護付き有料老人ホームも設立した壬生寺。これだけの規模で福祉事業を行う理由は、「庶民大衆の助けになる」という、このお寺本来のモットーを体現するためだといふ。

取材に応じてくれたのは、松浦俊海任職。社会福祉法人として運営されるこの施設「壬生老人ホーム」。その開設に至るまでは、並々ならぬ苦労があったといふ。「市の設置許可の受諾にはじまり、資金集めに至るまで、施設の立ち上げにはさまざまな困難がありました。しかし、性別や世代を問わずに親しまれる場所であるべき寺院の役割を果たすため、京都府や日本自転車振興会などから、資金を援助していただき、開業することができました」

同じ敷地内には保育園もあり、文字通り「ゆりかごから墓場まで」。人の一生に役立つ場所となっている。もちろん、ここまでの規模での福祉活動は、容易なことではなく、どのお寺で



もできることではない。ただし、松浦さんが語った「大事なものは、大衆のためになを成すかを常に考えるのが、お寺の使命」という言葉の通り、地域社会への貢献を念頭に、スペース活用が成功した例だらう。地域の人たちが安心して暮らせる場を提供するのもお寺の今後の役割になるだろう。

天台浄宗 大本山 廬山寺

〒602-0852 京都市上京区寺町通り広小路上の北之辺町397 Tel. 075-231-0355

壬生寺

〒604-8821 京都市中京区坊城仏光寺北入 Tel. 075-841-3381

1980年設立の社会福祉法人。常時50名の長期入所をはじめ定員4名のショートステイにも対応可能となっている。さらに介護認定者を対象に、リフト付きのバスで自宅とセンターの送迎をするデイサービス(定員28名)や介護認定者を持つ家族のために、一時的に預かるショートステイ(定員4名)、居宅介護支援事業所なども併設することで、幅広く高齢者の在宅介護をサポートを行っている。

施設内にはレクリエーションなどの設備も充実。さらに同じ敷地内には保育園もあり、都心の観光地ということもあって、毎日にぎやかな暮らしが提供されている。



介護専門家のアドバイスのもと、日々のレクリエーションイベント、機能訓練を実施。

行政・観光の最新情報をレポート

## 日本をもっと知ってほしい！ 広域観光周遊ルート形成促進事業

都道府県にまたがる周遊ルート形成で地域活性化を

### 全国に観光客を分散し 「地方創生」を実現

国土交通省の2015年度の新規事業である「広域観光周遊ルート形成促進事業」が国内外で注目を浴びている。外国人の観光は、東京や京都に偏っているのが現状だ。この事業では訪日外国人に、各地方の魅力を伝え、全国に観光客を分散させるのがねらいだ。地方に観光客が増えれば、それにとまなう雇用も生まれ、安倍政権が進める「地方創生」にもつながる。

### 国内外で実績のある 広域での観光周遊ルート

「広域観光周遊ルート」とは、都道府県をまたがったテーマ性・ストーリー性のある複数の観光地をつないだ観光ルートのことだ。現在、全国各地の観光地が連携し、広域での移動ルートを企画している。ルートの範囲はさまざまだが、外国人旅行者の滞在日数（平均6～7日）を想定したものが多く、

日本国内の先行事例では、中部北陸9県をつないだ「昇龍道プロジェクト」がある。東海から北陸地方を龍の形に見立て、南から熊野古道、伊勢神宮、名古屋城、白川郷などをめぐり、北上するルートを提案する。主に中華圏からの観光客にアピールするこのプロジェクトは2012（平成24）～14（同26）年まで、上海、杭州、台北、バンコクなどでプロモーションが行われ、多くの訪日観光客を獲得した。

13（同25）年の昇龍道9県における外国人宿泊者数は、大幅にアップ。前年比で約37%の増加があった。

国外での例としては、ドイツ「ロマンチック街道」があげられる。歴史ある古城や都市をめぐるルートは、日本からの観光客に人気だ。

### ルート形成にともなう 各地域での観光への取り組み

事業の進め方としては、ルートの形成は各地域が企画し、国は認定したルートの整備を支援する。広域観光周遊ルートを形成するうえで、地域ではそれにとまなうさまざまな取り組みが必要とされる。たとえば、外国人受け入れ環境についてだけでも、店舗や観光地での多言語での表示、免税店の増強、無料公衆無線LAN（域内情報通信網）環境の整備などがあげられる。また、地域の観光資源を生かした滞在コンテンツの充実など、ルート形成と連動した企画も各地で進行中だ。またルート形成後も、訪日外国人にヒアリ

地方に需要を生み出す広域観光周遊ルート形成促進事業

### 昇龍道プロジェクト

主に中華圏の訪日観光客を対象に、中部北陸9県が設立したプロジェクト。能登半島を龍の頭に見立て、各観光地をめぐる広域の観光ルートを形成した。平成25年の昇龍道9県における外国人宿泊者数は前年比で約37%の大幅増となった。（参考：同時期の全国では約27%増）

#### 行政機関・団体・企業が参加

プロジェクトには行政機関のほか、銀行やホテル、旅行会社、百貨店などの企業や団体が参加。中華圏向けの商品の提供を始めるなど、訪日観光客のためのサービスで商機を得た例も。



画像出典先：観光庁資料

ングを行うなどして、さらなるブラッシュアップをはかる。

新たなルートが企画されるなか、寺社の存在は極めて重要になる。日本の伝統ある生活様式や、日本人の精神性が感じられる寺社は、主に欧米の人々に根強い人気がある。観光スポットとしての神社仏閣はもちろん、宿泊施設として宿坊を利用するプランも増えてくるだろう。

### 問題点を解決し 事業のさらなる充実を

今後盛り上がり期待される事業だが、問題点もある。観光地間を結ぶ交通網の問題もその一つだ。外国人観光客に各地方の魅力が伝わっても、移動の際の交通手段がわからなかったり、外国人が使いにくいなどの理由で広域での移動を断念することも多い。観光庁長官の久保成人氏は、2014年9月17日の定例会見で、観光地間の移動の利便性の向上をはかる方針を示した。久保氏は「（ルートが）広域になればなるほど交通網は重要化する」と述べている。

＝参考＝

観光庁ホームページ

Travel vision 2014年9月18日記事  
<http://www.travelvision.jp/>

SankeiBiz（サンケイビズ） 2015年1月23日記事  
<http://www.sankeibiz.jp/>

日本経済新聞Web刊 2012年6月27日記事  
<http://www.nikkei.com/>

参加者が持ち寄った本で作り上げられた本棚には、さまざまなジャンルの本がズラリと並んでいる。

「参加者同士が仲良くなって、次回一緒に参加される方も。まちライブラリーをきっかけに、気軽にお寺に来てもらえるよな」

「2011年8月から始めたまちライブラリーは、提唱者の磯井純充さんに誘っていただいたのがきっかけ。年々参加者の増加に伴い、参拝者も増えています。今は不定期のイベントのほか、毎月1日に行っている『お岩様開運祈願祭』に合わせて開催。まちライブラリーの相乗効果で、定員35人以上の人が集まる日もあります。イベントの日には、本を1冊1冊持参していただき、本堂で車座（輪のように内側を向いて並んで座ること）になって、順番に本の紹介をしてもらいます。そこで会話のきっかけが生まれ、人の輪が広がっていくのを感じていますよな」



ようになつたと思います。また、私自身も参拝された方と会話する機会が増えたことが嬉しく思います。

現在、日本全国約122カ所近くで展開している「まちライブラリー」。本を通じて「人」の縁をつむいでいくことによって新たなコミュニティが生まれ、地域社会に貢献できつつ。

# 東

京・四谷にある陽運寺。祀られているのは、「東海道四谷怪談」で名高いお岩様。別名「於岩稻荷」とも呼ばれ、縁結びに御利益があると人気のスポットだ。

# 3 まちライブラリー

みんなで作る図書館が地域の人気スポットに



長照山  
陽運寺

〒160-0017  
東京都新宿区左門町18番地  
TEL.03-3351-4812

まちライブラリーを毎月1日に取り入れたことによって、定期的に参拝を兼ねてお寺に来るリピーターがグッと増えたよう。同日開催している行事、「お岩様開運祈願祭」の約8割は女性の方が参加し、毎回定員35人以上の人が集まる人気の行事になっている。

そもそも、まちライブラリーとは、2008年に磯井純充氏が自身の蔵書1500冊を使って、ビルの一室でスタートさせた活動。どなたでも開設が可能なので、寺社の本堂の一室で気軽に始められるのも魅力的。「まちライブラリー」の内容&開設方法などはホームページにてチェックが可能だ。

<http://machi-library.org/>



法事以外で使うことのない部屋に、参加者が本を持ち寄り「まちライブラリー」を運営。

ベトナム初の世界複合遺産

# ニンビン史跡の洞窟寺ビツクドン



ベトナムで天下統一をめぐる乱世の時代に、ディン・ホーリン (Dinh Bo Linh) / 丁部領 ※後のディン・ティエン・ホアン

／ Dinh Tien Hoang / 丁先皇) がベトナム歴史上初めて国家統一を成し遂げ、968年にディン (Dinh / 丁) 朝が都を築いた場所、ホアルー (Hoa Lu)。

1010年にタンロン (Thang Long、現ハノイ) に遷都するまで、次のティエンレー (Tien Le / 前黎) 朝と共に法整備や強力な軍事でベトナム国

家の礎を築いた場所でもある。

ホアルーでは「長安」の文字をよく目にする。これは、ホアルーが中国・唐の都、長安にならった都を目指したためだ。し

「レーダイハイソウ祠」内部の柱にある「長安」の文字

かし長安が南北を軸に都が築かれたのに対し、ホアルーは東西を軸に都が置かれた。

このベトナムの原点とも言えるホアルー遺跡の南側にビツクドン寺 (Chua Bich Dong) が位置する。

ベトナム初の世界複合遺産であるニンビン史跡は、その中の古都ホアルー遺跡から、美しい洞窟寺であるビツクドン寺までがメインエリアとなる。

タムコックの船着き場から2キロ。1428年にこの地を訪れた2人の仏僧が山水画のような美しい景観にひかれて建立したのがビツクドン寺のはじまり。寺は崖に沿って三つの部分か

## 自然と歴史が織りなす 悠久の地にある神秘の寺

らなる洞窟寺で、ベトナムの洞窟寺の中でも3本の指に入る美しさと言われる。

ビツクドン寺のあるニンビン (Ninh Binh) 省は、ハノイから南に向かつて2時間ほど車を走らせた位置にあり、水田の中に石灰質の奇岩が林立しはじめることである。これが典型的な景観である。この奇岩のあいだを舟で巡るボートツアーをはじめ、ニンビン省内には見どころが多い。ホアルー遺跡はもちろん、ベトナム初の国立公園であるクックフオン (Cuc Phuong)、そして越洋折衷建築がみごとなファットジエム (Phat Diem) 大聖堂など。歴史と自然にひたる

時間が過ごせる。

ホアルーには、由緒ある寺院も多い。なかでもキムソン県は、キリスト教と縁が深く、数多くの教会も見られる。寺と合わせると、まるで宗教建築見本市のようでもある。さまざまな宗教建築を楽しみながら、古寺を巡る旅に出してみるのも一考だ。

世界複合遺産として認められた理由の一つに、「世界で最も若いカルスト地形」があると聞く。カルスト地形とは、石灰岩などの岩石で構成された大地が、水によって浸食されてきた独特の地形のことだが、ここは約2億4000年前と、考古学的な見地からは新しい地形で、と

でも珍しいのだという。さらに、点在する溪谷の中から約3万年

前の人類の生活跡が残る洞窟が発見されている。自然が生む独特の地形と、そこで暮らしてきた人々の痕跡を訪ねて、世界遺産のメインとなるチャンアン渓谷へ足を運ぶこともできる。

大いなる自然の力とその美しさにただただ圧倒される。

仏僧たちが、この美しさにひかれ寺を建立した理由がわかるような気がする。ビツクドン寺は、正に自然と調和した洞窟寺である。人類の原点とも言える自然環境の中の寺、一生に一度は訪れてみることをお勧めする場所でもある。

写真及び資料提供: Sketch Co. Ltd スケッチ有限公司

ビツクドン寺 Dam Khe Village, Ninh Hai Commune, Hoa Lu Dist., Ninh Binh



苔むした門、色あせた木彫りの装飾が見られる。至るところに歴史の残り香が感じられる古都ホアルーの遺跡である。中国の影響を大きく受けていたことが見受けられる



ビツクドン寺は、タムコックの船着き場から約2kmの洞窟の中にある。神秘的な佇まいに、心が動かされる。日本では、寺というよりも、神社に似たものと言えるだろう。拝観時間は7:00～17:00



ビツクドン寺は3層に分かれている。二つ目の「中寺」は洞窟の奥の方にあって、正に自然の中に溶け込んだ寺とも言える。洞窟が、その神秘性をより以上に高めているようだ



寺社を活性化させるキーパーソンに聞く

外国人観光客に  
もっと日本をアピール！  
マルチリンガルな  
WEB マガジン作りました！

株式会社 Sen 代表  
**青木 優**



「日本全国には素晴らしい寺社が各地にたくさんあるのに、意外と知られていない。寺社は宿泊体験ができることなどをもっと発信すべきではないでしょうか」と、青木さんは語る。

**外** 国人観光客の間で注目を集めている「MATCHA」は、訪日外国人向けに日本の情報を発信するWEB マガジン。日本の価値ある文化を未来に残すために株式会社 Sen の代表、青木優さんが立ち上げた。

スタートからわずか10ヶ月で、月に世界180ヶ国以上から60万ものアクセスを誇るまでに成長。その秘密は、日本語、やさしい日本語、英語、韓国語、中国語簡体字・繁体字、インドネシア語、タイ語の8言語で展開していることが挙げられる。

発信する情報は、日本の観光地やイベント、商店街やコンビニについてなど。寺社の情報もその一つだ。一般の観光ガイドとは一線を画した幅広い情報提供が特徴。根底にあるのは、もっと日本を好きになってもらいたいという思いだ。

現在MATCHAには、いくつかの寺社に関する記事が掲載されている。初詣やえびす参りについての記事、京都の有名寺社の記事などのほか、お寺の坐禅会への潜入レポートや、女性とデートしているような気分で読める「女の子と神社に行ってみよう！」などユニークな視点の記事も多い。寺社とは少し違うが、「お墓参りのやり方」という記事では、先祖供養の考え方や墓参りの作法などに詳しくふれており、日本人には当たり前の風習や思想が、外国人には深い関心を持って受け入れられているのがよくわかる。今後は、地方の寺社にもっと興味を持ってもらえるような企画を検討中だ。

掲載する情報は、ライターが実際に現地足を運び、『伝えたい！』と感じたことが中心。そのためどの記事にも熱意があり、日本人が読んで新鮮で面白い。この調子で寺社に関する記事が増えていけば、より多くの外国人が、全国の寺社に足を運んでくれることだろう。



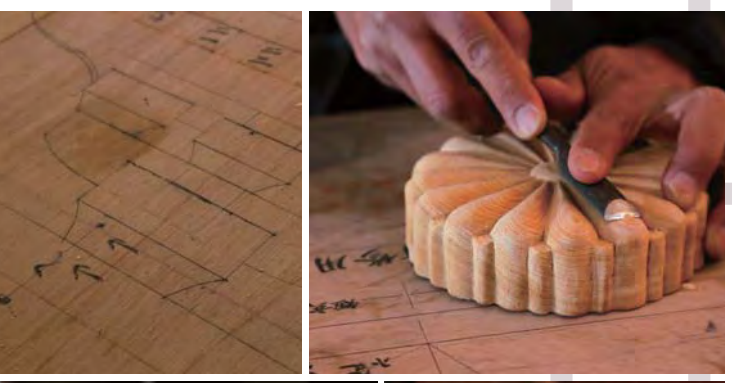
WEB マガジン MATCHA : <http://mcha.jp/>



日本古来の伝統的な木造建築技術を受け継ぎ、神社仏閣の建築・修繕を行う宮大工。歴史ある文化財を後世へ伝えるために、欠かせない存在である。近年では、東国三社の鹿島神宮（茨城県）、香取神宮（千葉県）の修繕に携わった、第一線で活躍する注目の職人・三木和人さんの作業場を訪ねた。

**文化財を後世に伝える**

**宮大工の技**



伝統と文化を継承する職人名鑑

**職人技**

三木和人さん/知人の住職さんの勧めで宮大工の道歩み出し、「番匠井上」井上俊仁氏に師事。現在、神社仏閣の建築・文化財修復・仏壇制作を手掛ける会社「森の彩」の代表・宮大工を務める。文化庁重要文化財保存補助事業前期・後期認定。文化庁新進芸術家育成事業修了。東日本寺社建築技術保存会正会員。



**「修** 業時代、とくに印象に残っているのは日本伝統建築技能研修に参加したこと。当時は全国から20人選出されて参加できる研修で、師匠の下で働きながら1年間かけて宮大工、畳、漆塗りなど、日本の伝統技術をたくさん学ぶことができました。講師の方は人間国宝に指定されている職人もいるような、超一流の方ばかり。そうして親方の下で修業していた期間は約3年間、独立をして17年たちましたが、今でもそのとき学んだことがいろいろ現場で生かされています。さまざまな建築様式があるので、この仕事は毎日修業だと、思っています。規模によりますが、神社仏閣を造るために費やす期間は、新築の場合1年半くらい。修繕になると4〜5年掛かるため、通常の住宅を造るときよりも時間と匠の技が必要です。寺社に携わるのは、商売というよりも、やりがいかな。仕事で関わった神社やお寺に参拝している方を見るとうれしくて、この仕事に誇りを持ちますね。そして、いつかちばん難しい、と言われている多宝塔を新築で造ってみたいです」。

**森の彩**  
〒286-0018  
千葉県成田市吾妻2丁目2-2-19-405  
Tel.0476-29-6605  
<http://www.kinobunka.jp/>



# 風まかせ 03

野田博明



## ダメよ、ダメ 鳥の足跡、消しちやダメ!!

### 「鳥」

の足跡、なぜこ  
わい」  
こんな化粧品

古いCMを知る人生練達の方、目尻の小皺が増えてきたと感慨に老ける、もとい、耽るあなた、「カラス、わからなくい」と首をかき上げる若人諸君、はたまた小皺なんざと吹っ飛ばして切つてみせる横町の旦那方もちよいとこのコラムに目を留めてほしい。  
今を去ること千九百年前の古朝鮮・新羅国での出来事である。  
『新羅の阿達羅王四年、突然、日月の光がなくなった。占つてみると日月の精（迎鳥・細鳥の夫婦）が新羅を去り、日本の小島へ行ってしまっ

たという。王が帰国を促すも、これは天命であると細鳥の織った細絹を代わりに送る。絹を祀り祭天儀礼を行うと日月の光が戻った。祭祀をした所を迎日と号し県を置いた」  
その地は慶尚北道浦項市にあり、現在も迎日湾としてその名を残す。この『迎鳥・細鳥』の奇譚は『新羅殊異伝』という説話集に集録されている。同書は正史・『三国史記』（1145年）や『三国遺事』（1280年代）を二、三世紀遡るころ編纂された公的書物で、古代朝鮮文化の粹が垣間見えると共にわが国上代の深層に潜る地下水脈とのつながりを強く示唆する貴重な資料で

ある。  
この鳥の一字を持つ夫婦の物語はどこが天岩戸の話を想起させる。機織りをしていた天照大神が素戔嗚尊の乱行に立腹、天岩窟にこもり、高天原が闇に閉ざされたあの有名な神話である。  
そこで、鳥の文字を背負う日月の精が漂着した日本の小島とは一体どこか。その謎解きを促す「鳥の足跡」が風土記や日本書紀（以下、紀）に残されている。  
まず風土記に吉岐国逸文がある。そこに新羅鳥という不可思議な項がある。  
「対馬鳥ト云フ鳥アリ。ハシ、アシ

なっている。  
対馬に頭れた日神（日神命）は、天照と同義である阿麻呂留神社（対馬市美島町小船越）に祀られている。また、高皇産靈は対馬南端の豆飯にある式内社・多久頭魂神社の境内にある高御魂神社に鎮まっている。  
かように日神・月神が古神道の伝道の要路である対馬・吉岐に鎮座するとの叙述は、『新羅殊異伝』の「鳥の足跡」と見事に付合するものであり、日神という色彩を強くおびる天日槍という形を変えた伝説と共に「鳥の足跡」を篆刻のように奥深く刻み込んでいともいえる。  
そして、それは、紀が編纂された同時代の人々には両島に日神、月神が降臨しても必然な共有化されたある事実認識があったとしか考えようがないのである。お肌の手入れの効

赤クシテ身ノモモ多クハシロシ。ヒエトリノタキヒ也。何ノ故ニ力カラント云フ。カラスト云フ事は一二カキラス。吉岐嶋に鳥アリ。コレヲハ新羅鳥ト云フ。麦ノタネマク時、群飛、麦ヲクラフト云々」  
鎌倉時代の書・「塵袋」に引用された抄文のため前後の文章は今となっては知るすべもないが、対馬には鳥名を吉岐には新羅を冠した鳥がいたことが案内されている。寸鉄のごとき謎の足跡ではあるが、吉岐・対馬には鳥につき敢えて抱き合わせて採録せねばならぬ深い事情があったと考えてよい。  
次に『迎鳥と細鳥』から思いつく

のが新羅の王子・天日槍の渡来譚である。  
日本書紀の垂仁紀三年に天日槍が来朝し、播磨、近江などを巡り、但馬の出石で土豪の娘・麻多鳥をめぐり、定住したとある。  
古事記の応神紀には、「吾が祖の国（日本）へ行かむ」と去った日神の子たる妻を追い天之日矛が渡海するが、難波にとどまる妻に再会することがなわず但馬で妻をめぐると。その間に生まれた子の未裔に応神天皇の母・神功皇后が連なると記されている。  
また、播磨風土記には天日槍が土地争いの神として度々登場する。讃

果ではないが、「鳥の足跡」がもし消し去られていたら、この国の成り立ちのパーツともいえる重要な要素が欠損していたところである。  
最後に、鳥にまつわるその後の次第を語っておく。鴨が鳥に、鳥が鴨に七変化という厄介な譚である。神武東征の際に天皇軍が熊野山中で迷ったとき、頭八咫鳥が大和への先導役を果たしたことはよく知られている。  
頭八咫鳥は造化三神の柱・神魂の孫、鴨建津身命が大鳥に化身したもので、大和征伐の論功行賞にあずかった。その子孫が葛野主殿（主部）で、鴨氏ならびに加茂氏の祖となるが、その氏神を祀るのが葵祭で著名な賀茂下上二社である。  
鴨と鳥の因縁は、KAMOがKA M I（神）に通じ、さらに前述した

陽鳥神話に結びついたもの、鴨氏が主殿として燭火で宮中を案内する職掌にあり八咫鳥の先導役を連想させたといった浅慮はするが、正直、よくは分からない。  
また、八咫鳥そのものも、「続日本紀」慶雲二年に創建の記載がある奈良県宇陀市の八咫鳥神社で大切に祀られてきている。  
わが国の悠久の時の流れのなかで、鳥と鴨は渾然一体となり、また、八咫鳥そのままの姿でわれわれ日本人の心の中でいまもひそやかに生き続けている。  
そんな鳥と鴨が息づく賀茂下上二社には二十一年ごとに行われる式年遷宮がある。本年四月に下鴨神社、十月に上賀茂神社において修理完成になった本殿に神様がうつられる正遷宮が斎行される。

容郡の条に、「船引山に鶴住めり。一ひと韓国の鳥と云へり」という下りがある。これは編者の隠喩であろうか、朝鮮半島と鳥を連想させる巧みな説話の配置となっている。  
一連の叙事を総合すると、日神を追った天日槍は韓国鳥のいる播磨を通過することで、天日槍と鳥つまり太陽と鳥を結びつける古代中国の陽鳥神話を構成し、その日神の血統が応神天皇へ、爾後の天皇の系譜に流れ込んでゆくことになる。  
さて、新羅という視点から「鳥の足跡」をたどってきたが、わが国には紀の顕宗紀三年に日神と月神が頭れたという謎めいた話が出てくる。  
まず二月条に、任那へ向かう使者が吉岐を通過した際、月神が憑依し、「我が祖高皇産靈、預ひて天地を鍛造せる功有します。民地を以ち

て、我が月神に奉れ」と託宣する。朝廷はすぐに山背国の地に神田を献上しそこに祠を建て、吉岐から呼び寄せた押見宿禰（吉岐県主の祖）に祀らせたのである。京都・嵐山の松尾大社の摂社であるが、松尾山南麓に鎮まる神寂びた月読神社こそがその縁の祠である。  
吉岐の月神（天月神命）と高皇産靈は吉岐市の箱崎八幡神社が式内社の有力な論社とされ、二柱の神様は現在、同所で祀られている。  
四月条では、対馬で日神が使者に憑依し、「磐余の田を以ちて、我が祖高皇産靈に献れ」と神託が下る。  
早速に神田十四町を献上し、対馬から遣わされた下県直が分祀された高御魂神を祠に祀り、代々その子孫が祭事を司った。奈良の橿原にある天満神社がその祠の有力な論社と

果ではないが、「鳥の足跡」がもし消し去られていたら、この国の成り立ちのパーツともいえる重要な要素が欠損していたところである。  
最後に、鳥にまつわるその後の次第を語っておく。鴨が鳥に、鳥が鴨に七変化という厄介な譚である。神武東征の際に天皇軍が熊野山中で迷ったとき、頭八咫鳥が大和への先導役を果たしたことはよく知られている。  
頭八咫鳥は造化三神の柱・神魂の孫、鴨建津身命が大鳥に化身したもので、大和征伐の論功行賞にあずかった。その子孫が葛野主殿（主部）で、鴨氏ならびに加茂氏の祖となるが、その氏神を祀るのが葵祭で著名な賀茂下上二社である。  
鴨と鳥の因縁は、KAMOがKA M I（神）に通じ、さらに前述した

陽鳥神話に結びついたもの、鴨氏が主殿として燭火で宮中を案内する職掌にあり八咫鳥の先導役を連想させたといった浅慮はするが、正直、よくは分からない。  
また、八咫鳥そのものも、「続日本紀」慶雲二年に創建の記載がある奈良県宇陀市の八咫鳥神社で大切に祀られてきている。  
わが国の悠久の時の流れのなかで、鳥と鴨は渾然一体となり、また、八咫鳥そのままの姿でわれわれ日本人の心の中でいまもひそやかに生き続けている。  
そんな鳥と鴨が息づく賀茂下上二社には二十一年ごとに行われる式年遷宮がある。本年四月に下鴨神社、十月に上賀茂神社において修理完成になった本殿に神様がうつられる正遷宮が斎行される。

野田博明（のだ・ひろあき）  
昭和26年4月生まれの63歳。昭和50年3月、東京大学卒業と同時に日本興業銀行入行。広報部長・管理部長などを経て、みずほホールディングス監査役などを歴任。平成23年に退任。趣味は神社仏閣巡りを兼ねた旅とグルメ。日本書紀など古代史が大好き。



1 松尾大社は渡来系氏族の秦氏との関係が深く、酒の神様として信仰されている 2 月神の託宣で献上した神田であろうか松尾大社に残される神願田 3 松尾山南麓に鎮まる月読神社 4 対馬市美島町小船越に建つ阿麻呂留神社鳥居の扁額 5 対馬市厳原町豆飯の多久頭魂神社境内にある式内社・高御魂神社 6 葵祭・社頭の儀 齋王代の参進 7 下鴨神社（正式名：賀茂御祖神社）の二之鳥居と楼門



## 室

町時代に宥法上人が開基した下沢山遍照院清泉寺。御本尊には、十一面観世菩薩を祭る。子育て・安産守護の寺院として有名で、地域の人々に親しまれている。

幹線道路・国道51号線からひとつ小道に入り、寺院に向かって進んで行くと出てくるのが、こちら白鳥観音像。優しく微笑みかけて

いるような表情が印象的な、ブロンズ製の像は太平洋を望む高台に建つ。晴れた日には青空が背景に広がり美しさが増す。台座からの高さは、約3.7m。構図は地上に舞い降りた白鳥を右手に招き、左手は空に伸ばして飛び続ける白鳥の翼に自らの位置を示している。

長崎県の「平和祈念像」の制作者としても有名な北村西望に師事し

た、僧侶であり彫刻家の橋本活道さん・早苗さん御夫婦が、全国各地を巡るなかで、昔白鳥村と名のついていたこの地にほれ込み、白鳥観音像の創作を決意。1987年にご厚意で遍照院清泉寺のために像を制作・寄付したものだ。

「翼よ、母の胸に」をテーマに、先史以来の先祖の霊や戦没者の霊、すべての生命あるものの霊を安らかに、

という祈り。そして、現在と未来の平和と繁栄を願う場所になれば、という強い思いが込められている。

また記憶に新しい2011年の東日本大震災で、土台は崩れてしまったものの像はほとんど無傷で残っていたそう。約27年間変わらぬ姿でそこに立ち続ける白鳥観音像は、これからも人々をやさしく見守り続けてくれることだろう。



北村西望の愛弟子が制作  
白鳥観音像



下沢山遍照院 清泉寺  
〒311-2113 茨城県鉾田市上幅木 1592  
TEL. 0291-39-2479



国宝であり、日本最古最大の  
直刀



鹿島神宮  
〒314-0031 茨城県鹿嶋市宮中 2306-1  
TEL. 0299-82-1209



本建國に挺身し、武道の神様として名高い、武甕槌大神を御祭神とする鹿島神宮は、東国三社のひとつであり、NHKで放送された『塚原ト伝』の舞台としても有名だ。

鹿島神宮が創建されたのは、日本の初代天皇とされている神武天皇が即位した紀元前660年。

そんな由緒ある神社に紹介してい

ただいたのは、国宝にも指定されている直刀（金銅黒漆平文拵・附刀唐櫃、なんと、全長2.71メートルある日本最大級の大きさだ。

この直刀について奈良時代初期から中期の常陸国（現、茨城県の大部分）を記した地誌『常陸国風土記』に記録があり、約1300年前につくられたものと推定。鹿島神宮の神様・武甕槌大神が、道中で窮地に

立たされた神倭伊波礼彥古命（後の神武天皇）に剣を与え、救ったという逸話に沿って、後世に伝えるためにつくられたものと言われている。

長きにわたる、鹿島神宮の本殿に収蔵されていたが、戦時中の金属回収令により、国に没収されてしまう。だが、戦後奇跡的に発見され、鹿島神宮に舞い戻ってきた、というエピソードがあるのもすごい。

また、鹿島神宮がある茨城県鹿嶋市に、鉄鋼産業の中核を担っている工場がある理由のひとつに、この直刀が関係している、という話も。

現在は宝物館に収蔵展示されており、一般公開もしている（9～16時／拝観料…大人¥300、中学生以下¥100）。実際に手に取って重量や長さを体感できる実物大のレプリカも展示しており、観光客に人気だ。

発行人  
一般社団法人 全国寺社観光協会事務局

編集統括  
岡本 恵

編集主幹  
前田隆義

デザイン  
タダノキンシュウ

編集  
井上朋紀  
梶谷友美  
粉木こなつ  
石田康二

企画構成  
水美光一

制作進行  
セン・シセン

寺社 NOW 編集部  
株式会社関西マガジン放送局

発行所  
一般社団法人 全国寺社観光協会事務局

〒530-0044  
大阪府大阪市北区東天満1丁目11番13号  
AXIS 南森町ビル1103号  
Tel: 06-6360-9838 Fax: 06-6360-9848

寺社 NOW 3月号  
第1巻第3号 平成27年3月発行

本誌の表紙、記事、写真、イラストはすべて著作権法で保護されています。本誌の許諾なしに複写（コピー）したり、印刷物やインターネットのWEBサイト、メール等に転載したりすることは違法となります。

## 美しい所作に 尊敬の念をおぼえます

私はお寺のご住職に知り合いが多いのですが、ご先祖の供養について教えてもらったり、色々とお話からお世話になっていますね。実家でも婚家でもご先祖を大事にしていますが、法事は家族だけではできません。お寺やご住職のおかげで、心穏やかに過ごせると感謝しています。神主さんは、我々の願いを神様に伝えてくれる方。将来の指針が欲しいときには、神社にお参りしています。ご住職も神主さんも「すごいなあ」と感じるの、当たり前のように長時間正座しておられるところ。長年の修行の賜物なんだろうなと思います。佇まいや普段の仕草にも威厳と品があるというか……。一日で身につくものではないのでしょうか。



会社役員  
三久保真由美さん (49)

## 日本古来の生き方は ミステリアスで魅力的！

私は今スウェーデンに住んでいますが、一年半の間、日本に住んでいたことがあります。そのとき何度か日本の寺社を訪れました。特に印象に残っているのは、高野山のお寺と京都の神社です。高野山では日本語学校の友人たちと宿坊に泊まりました。そこで坐禅を教えてくれた住職やお坊さんはとても謙虚で親切。シンプルな生き方に満足しているように見えました。修行はとても厳しいと聞けど、彼らは幸せそうだったし、そんなに辛いとは思っていないんじゃないかな？ 京都で会った神主は、とてもミステリアスな魅力がありました。お祓いの動作は不思議だけど美しいですね。住職も神主も、日本古来の生き方や価値観を大事にしています。



看護学生  
クリスティン・ローエナーヴォールさん (29)



## 「住職さんと神主さんについて どう思いますか？」

### 住職も神主も地域に なくてはならない存在

神主は神様と私たちの橋渡しをしてくれる人というイメージ。たとえば神社での結婚式は、まさに神様と人間が繋がる神聖な儀式という感じがします。神主を通じて、参拝者は神様を感じることができます。一方、住職は亡くなった方を弔い見守ってくれる人であり、残された遺族の悲しみを和らげてくれる人。結婚式とお葬式。どちらも私たちの社会になくてはならないものです。他にも神社やお寺は人々が集まる場所でもありますよね。子どもの頃、近所のお寺にお正月の餅つきに行ったのを覚えています。住職は子どもにとって先生みたいな人でした。神主も住職も、地域に根付いた精神的なリーダーというか、頼りになる存在だと思います。



自営業  
横山雄司さん (44)

### 海の神、山の神に よろしく伝えてください！

私は神社とお寺の違いもあまりよく知らない、住職と神主の違いもぼんやりとしかわかりません。でも、神様とかあの世とか、科学では証明できない世界があるのは信じています。アウトドアが趣味で、よく海や山でキャンプをするんですが、そんなとき、自然の中で大きな存在を感じます。住職や神主は、きっとそんな存在に近い人たちじゃないかと思っています。どちらも、早寝早起き、規則正しい生活をしていますよね。私もキャンプをやっていると夜明けに起きて夜すぐ寝たりするんですが、そういう生活って、人間の持つ古くからの力呼び起こす気がします。だから住職も神主も優しくしてっさりしているのかな？



会社員  
並木聡子さん (31)

# トレンドNow

今話題のトレンドの波は寺社界にもジワジワ押し寄せています！

トレンド  
発信

## 3Dプリンターで作製！合格祈願付き 「東大生3Dフィギュアお守り」

登場してからあっという間に各分野に広まった3Dプリンター。寺社でも活用するところが増えてきた。東京大学の赤門の前にある浄土宗のお寺・和順山歓喜院法真寺（東京都文京区本郷）もそのひとつ。明治時代には境内に学生寮があり、明治天皇から銀時計を授与される優等生が続出したという。その逸話から、別名「銀時計寮」とも呼ばれる。この法真寺が3Dプリンターを使って、受験生の合格を祈願し「東大生の金色3Dフィギュア」を作製した。

ターゲットは、受験合格の祈願をする受験生。センター試験前日までの期間に東京大学合格御祈願の法要を行い、予約していた受験生に授与した。このフィギュアのお守りは来年以降も継続するということだ。御祈願料は「ご縁」「合格」にちなんで5555円。全額が日本ユニセフ協会に寄付され教育支援などに役立てられるとのこと。

最近では、スキャナーを内蔵した3Dプリンターも出ているので、粘土などで見本を作って使えば、オリジナルのお守りを作るのもそう難しくはないだろう。高価なイメージがある3Dプリンターだが、最近では廉価なものも出回り、一般ユーザーにも手が届きやすくなった。時流に乗って、3Dプリンターを寺社の活性化に生かしてみては？



フィギュア御守は現役生向けと浪人生向けの2種。どちらも神々しい大仏をイメージした光り輝く金色を纏い、桐箱入りという重厚感ある仕上がりです。



## 寺社と映像のコラボが話題 進化するプロジェクションマッピング

実物（リアル）と映像（バーチャル）がシンクロし、幻想的な世界を作り出すプロジェクションマッピング。建物など立体物に映像を映し出すイベントが各地で人気だ。

東京ディズニーランドのシンデレラ城や大阪城のプロジェクションマッピングは、大きな話題を呼び、テレビや雑誌で見た人も多いだろう。北海道・星野リゾートでは自然の雲に映像を映し出すイベントも開催されるなど、投影する対象もどんどん広がっている。寺社でのプロジェクションマッピングの事例も増えつつあり、新しい観光の可能性を切り開いている。東京都・円融寺で3年前から大みそかに行われるプロジェクションマッピングもその一つだ。国指定重要文化財の釈迦堂に、四季や歴史をモチーフにした美しい映像が投影され、新しい暮れの風物詩となっている。

また、栃木県では世界遺産に登録されている日光東照宮、二荒山神社、輪王寺をライトアップする「ライトアップ日光2014」が開催され、東照宮の石鳥居にプロジェクションマッピングが投影された。日本に登場してまだ日が浅いプロジェクションマッピングだが、その勢いはまだまだ衰える気配はなさそうだ。



2013年大みそかのオープニングシーン。大好評のこの企画は2014年に3年目を迎えた。提供：円融寺除夜の鐘プロジェクションマッピング奉納実行委員会 撮影：福原毅



「ライトアップ日光2014（日光東照宮）」は音と光によるインスタレーション（空間演出）により、「現世と神の領域の結界」を表現。10月31日から11月2日まで、1日4時間開催され、最終日は、12,000名に上り昨年より約2000名増であった。

「メディアアーツ選手（神奈川県）ではまち全体にメディアアート作品が設置される。写真は、延命寺に投影されたプロジェクションマッピング。（制作：東京照明設計）

【情報提供】一般財団法人 プロジェクションマッピング協会  
http://www.projection-mapping.jp  
〒100-0013 千代田区霞ヶ関3-6-15 霞ヶ関MH Towers 6F TEL: 03-6205-7541



# Time for Taiwan

思い立ったが台湾吉日



日本よりも  
ひと足早く春が訪れ、  
桜の季節を迎えます。



旧暦5月5日の  
端午節を過ぎると夏の季節が到来。  
海開きも始まります。



旅行なら  
台湾でしょ!  
いざ台湾  
楽しみ隊♪



一年で一番フルーツの  
種類が豊富な季節。  
ジューシーな  
トロピカルフルーツ  
が楽しめます。

11月に入ると  
暑さが和らぎ、  
穏やかな気候が続きます。



Taiwan  
THE HEART OF ASIA

台湾観光局

<http://jp.taiwan.net.tw/>



臺灣觀光年曆  
Time for Celebration  
TAIWAN TOURISM EVENTS

台湾観光協会

●東京事務所 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-8 川手ビル3階 TEL.03-3501-3591 FAX.03-3501-3586

●大阪事務所 〒530-0047 大阪市北区西天満4-14-3 リゾートトラスト御堂筋ビル6階 TEL.06-6316-7491 FAX 06-6316-7398